

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など	
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6		・特にコロナ禍、訓練室が2つあることで、定員を約半分ずつに分かれて活動することができ、感染予防対策となっている。	
	2	職員の配置数は適切であるか	6		・特に公園や遠方への外出の時には、職員数を基準よりも手厚くしている。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	4	1	・トイレ以外は、特別バリアフリー化はされてないが、利用者の年齢や特性に応じた環境作りをしている。 ・文字だけではなく、視覚を通じた情報伝達ツールが用意されている。 ・安全に過ごせるよう、職員が声掛け、見守りを心掛けている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	6		・静と動の活動目的に応じて、訓練室を使い分けをしている。そうすることで、子ども達にも予め活動の目的が伝わっていると思われる。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	5		・新しい支援等に取り組むと、日々の職員からの聴取り⇒振り返り⇒改善のサイクルを繰り返して、事業所独自のやり方を確立させていっている。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5		・前年度の保護者等向け評価表の結果をもとに、一部業務改善に取り組んだ。具体例として、避難訓練について保護者への周知が不十分であったことを振り返り、今年度は予め予定表に月に1回の避難訓練の日を記載し、連絡帳に何を想定した避難訓練でどのようなことをしたかとの詳細を記載した。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5		・自己評価の集計結果は、なごやし子ども発達支援サイト「すてっぷサポート」と弊事業所のホームページに公表している。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	第三者評価は義務ではないため、現在実施していない。			
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6		・月に1回、全体ミーティング内での研修や資料配布にて研修を実施している。今後、研修内容を充実させていくことが課題である。	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	5		・希望をされないご家庭を除き、個別支援計画書の更新時期に保護者の方と面談を実施している。次の計画書の目標や支援方法について、まずは保護者のご意向をお伺いした上で、ご相談、ご提案をさせて頂き、計画書の最終案を作成している。	
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	2	2	・心理職などの専門職がないため難しい。	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	5			
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	5			
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6		・各職員の特技を活かし、毎月の集団プログラムを計画している。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6		・日々様々な集団プログラムを計画している。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	5			
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6		・支援開始前には、その日の利用者、気を付けるべきこと、職員日直、集団プログラム内容等打合せをしている。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4	2	・支援終了後は、一部職員は送迎に出る為、全職員一緒にするのは出来ないが、個別カルテに記載したり、送迎に行かない職員を通して、その他の職員にその日の出来事を伝達している。 ・パートのため、勤務時間に制限があり、難しい。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6		・連絡帳に日々の支援を記録している。その他、個別カルテに気になることで他職員とのみ共有したいことを記録している。それらを基に、支援の検証・改善を行っている。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	5			

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5			
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	3	1	・必要に応じて、幼稚園や小学校、児童相談所と情報共有した上で、連携・支援を行っている。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	該当する利用者はいない。			
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	該当する利用者はいない。			
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	4			
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	3			
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	1	・今年度は実施できていない。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	コロナ禍につき、実施を自粛している。			
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	コロナ禍につき、実施を自粛している。			
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5		・日々の連絡帳を通して、また送迎時にも、子どもの様子を詳細にお伝えしている。	
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	3	2	・一部の保護者には、事業者内での支援方法を伝え、ご家庭でも同じようにして頂けるようお伝えし、実践して頂いている。その他の保護者にも、この支援を広げて行けるよう、職員の学ぶ機会を設けたい。		
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5		・契約時に分かりやすく説明させて頂いている。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	5		・希望をされないご家庭を除き、個別支援計画書の更新時期に保護者の方と面談を実施させて頂いている。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5		・保護者の方から、子育てについてのご相談事やお子さんの様々な報告のお電話・メールを頂いたり、送迎時にお話を頂くことがある。その時々に応じた、必要とされているご支援をさせて頂いている。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	コロナ禍につき、実施を自粛している。			
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5		・送迎時に、保護者から受けた申し入れ、来所前の相談は受けた当日に対処している。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5		・連絡帳を活用して保護者と連携している。 ・会報はないがそれ以外のことは、発信している。 ・定期的な会報は無いので、今後の課題とする。 ・行事予定や活動概要は定期的に発行している。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	6			
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5		・可能な限り、配慮をし、各利用者さんや保護者の方の心地良いコミュニケーション方法を選択させて頂いているつもりである。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	コロナ禍につき、実施を自粛している。			

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	5		<ul style="list-style-type: none"> 各対応マニュアルの職員間での共有は出来ているが、保護者への周知までは出来ていない。 地震や不審者の侵入を想定した避難訓練は、名古屋市の条例の定めに従い毎月行っている。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6		<ul style="list-style-type: none"> 名古屋市の条例の定めに従い、月に1回の避難訓練を実施している。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	6		<ul style="list-style-type: none"> 職員が見える共有ボード周辺に、特定利用者の服薬等についての貼紙をして、周知し、いつでも確認できるようにしている。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	該当利用者はいない。		
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6		
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6		<ul style="list-style-type: none"> 月1回のミーティングで、虐待についての研修を実施した。 正社員は、虐待に関する外部研修に参加し、全職員ミーティングでその他職員と研修として情報共有を行った。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	5		<ul style="list-style-type: none"> 特定の利用者について、個別支援計画書の特記事項に身体拘束に関する事項を記載し、保護者に説明の上、同意印を頂いている。 契約時、説明し書面で署名をもらい確認している。

○この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。